

1-23-26

国王尚真の、謝恩のため使者安丹惹等を遣わす符文

(二四八七、八、一一)

琉球国中山王尚真、謝恩等の事の為にす。

今、特に正義大夫程鵬を遣わし、使者安丹惹と同とに、表文一通を齎捧せしむ。礼字号海船一隻に坐駕し、馬一十五匹・硫黄二万斤を装載し、京に赴き大明の御前に進謝し、仍お礼部に赴き告稟して進収せしむる外、茲の諭遣を承くれば、途に在りて遅滞して便ならざるを得しむる母れ。所有の符文は須らく出給に至るべき者なり。

今開しす 赴京の

使者三員 安丹惹 嘉満度毎 那佳越奴

通事一員 蔡宝

人伴一十一名

国王附搭の蘇木四千斤・胡椒一千斤・番錫五百斤

成化二十三年(一四八七)八月十一日

右の符文は使者安丹惹及び通事蔡宝等に付し、此れに准ぜしむ

謝恩等の事 符文

1-23-27

国王尚真の、皇太子への慶賀のため使者皮揚那等を遣わす符文

(二四八七、八、一一)

琉球国中山王尚真、慶賀等の事の為にす。

今、特に使者皮揚那を遣わし、箋文一通を齎捧し、義字号海船一隻に坐駕し、鍍金銅結束線紮靶紅漆鞞腰刀四把・鍍金銅結束螺鈿靶鞞套刀四把・丁香二百斤・胡椒五百斤・番錫二百斤・硫黄二万斤・馬一十五匹を装載し、京に赴き皇太子殿下に進賀し、仍お礼部に赴き告稟して進収せしむる外、茲の諭遣を承くれば、途に在りて遅滞して便ならざるを得しむる母れ。所有の符文は須らく出給に至るべき者なり。

今開しす 赴京の

使者三員 皮揚那 王麻佳魯 益沙毎

通事一員 林荣

人伴一十一名

国王附搭の蘇木四千斤・胡椒一千斤・番錫五百斤

成化二十三年(一四八七)八月十一日

右の符文は使者皮揚那及び通事林荣等に付し、此れに准ぜしむ

慶賀等の事 符文

注(一)蔡宝 生没年不詳。久米村蔡氏(儀間家)四世(『家譜(二)』

二五〇頁)。

注\*この入貢については『明実録』弘治元年正月甲子、同年三月戊寅の条に記事があり、浙江より入国したと二年一貢の例に合わないことが問題とされている。

(1) 林榮 生没年不詳。久米村林氏(名嘉山家)三世(『家譜(二)』九一八頁)。